



一般社団法人4Hearts 代表理事
那須 かおり

はじめに | 自己紹介



一般社団法人4Hearts代表理事

那須 かおり

Nasu Kaori

プロフィール

聴覚障害者としての経験を活かし、情報コミュニケーションバリアの解消に挑む社会起業家。企業や行政、大学と連携し、音声認識アプリの導入だけでなく、体験を通じた当事者と社会の双方に意識変革を促す活動を推進。心理的支援とコミュニケーション改革を通じ、「同じ瞬間に笑い合える社会」の実現を目指す。
JAICO認定産業カウンセラー。

主な活動

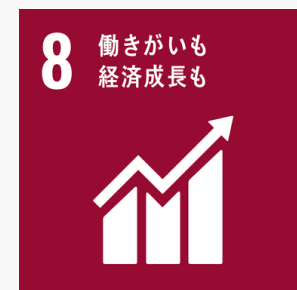
- 行政・大学・企業とコレクティブインパクトのもと、実証実験を実施
- ヘッドフォンを活用した体験型のワークショップ体験者数、1000名以上
- 子ども向けの体験型ワークショップを制作、探究学習教材化

一般社団法人4Hearts

誰もが同じ瞬間に笑いあえる社会へ



- 2019年 9月 市民団体設立
- 2020年 5月 社団法人化
- 2021年 4月 神奈川大学工学部経営工学科人間工学研究室と2年間共同研究
- 2023年 1月 デジタル庁のデジタル推進委員
- 2023年 3月 かながわボランティア活動推進基金21 ボランティア活動奨励賞を受賞
- 2023年10月 令和5年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞 主催者賞を受賞
- 2024年 4月 かながわボランティア活動推進基金21 令和6年度協働事業



聴覚障害の実態と社会課題

日本の難聴者数

推計約 **1360**
万人以上

JapanTrak2022(日本補聴器工業会)

そのうち障害者手帳所持者

37.9 万人

そのうち手話言語話者

約 **4** 万人

令和4年厚生労働省「令和4年生活のしづらさなどに関する調査結果」

身体障害者手帳取得要件（聴覚）

- ① 両耳の聴力レベル70dB以上
- ② 片耳の聴力レベルが90dB以上
かつもう片耳の聴力レベルが50dB以上

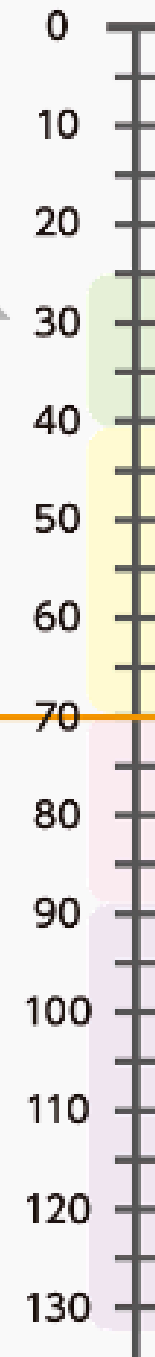
曖昧な困難さを抱える人たち
こころの低温やけどを抱えて生きる

“耳が遠い”といわれる

加齢性難聴

75歳以上の
70%が該当

音の大きさ (dB)



0		
10		~25dB
20	寝息	普通の会話が聞こえにくい
30	ささやき声	軽度難聴 25dB~ 小さな音は聞こえにくい
40	図書館の中	
50	静かな事務室	中等度難聴 40dB~ 普通の会話が聞こえにくい
60	普通の会話	
70	電話の呼び出し音	
80	ピアノの音	高度難聴 70dB~ 大きな声でも聞こえにくい
90	犬の吠える声	
100	電車のガード下	重度難聴 90dB~ 耳元の大きな声でも聞こえにくい 日常の音がほぼ聞こえない
110	車のクラクション	
120	飛行機の爆音	
130		

すでに2025年——後期高齢者の急増もあり、

情報コミュニケーションバリアへの対策は待ったなし！

この意識のズレが社会課題！



聞こえない・聞こえにくい人

分かったふりをしたり
会話に入るのを
諦めてしまう

筆談に**負い目**を感じる

後ろの列に遠慮して**わかったふり**をする
会話に入れなくて**諦めてしまう**

場を壊したくなくて、**微笑んでごまかす**
意思決定のための情報が得られない

→**判断**できない

→**行動**が起こせない

→**夢**を描きづらい

地域や周囲の人たち

今まで接したことも
ないから、どう対応
したらいいのか…



存在や困りごとが可視化されていないから…

聞こえない・聞こえにくい人が**身近でない**

どう対応したらいいかわからない

なかなかジブンゴトにならない

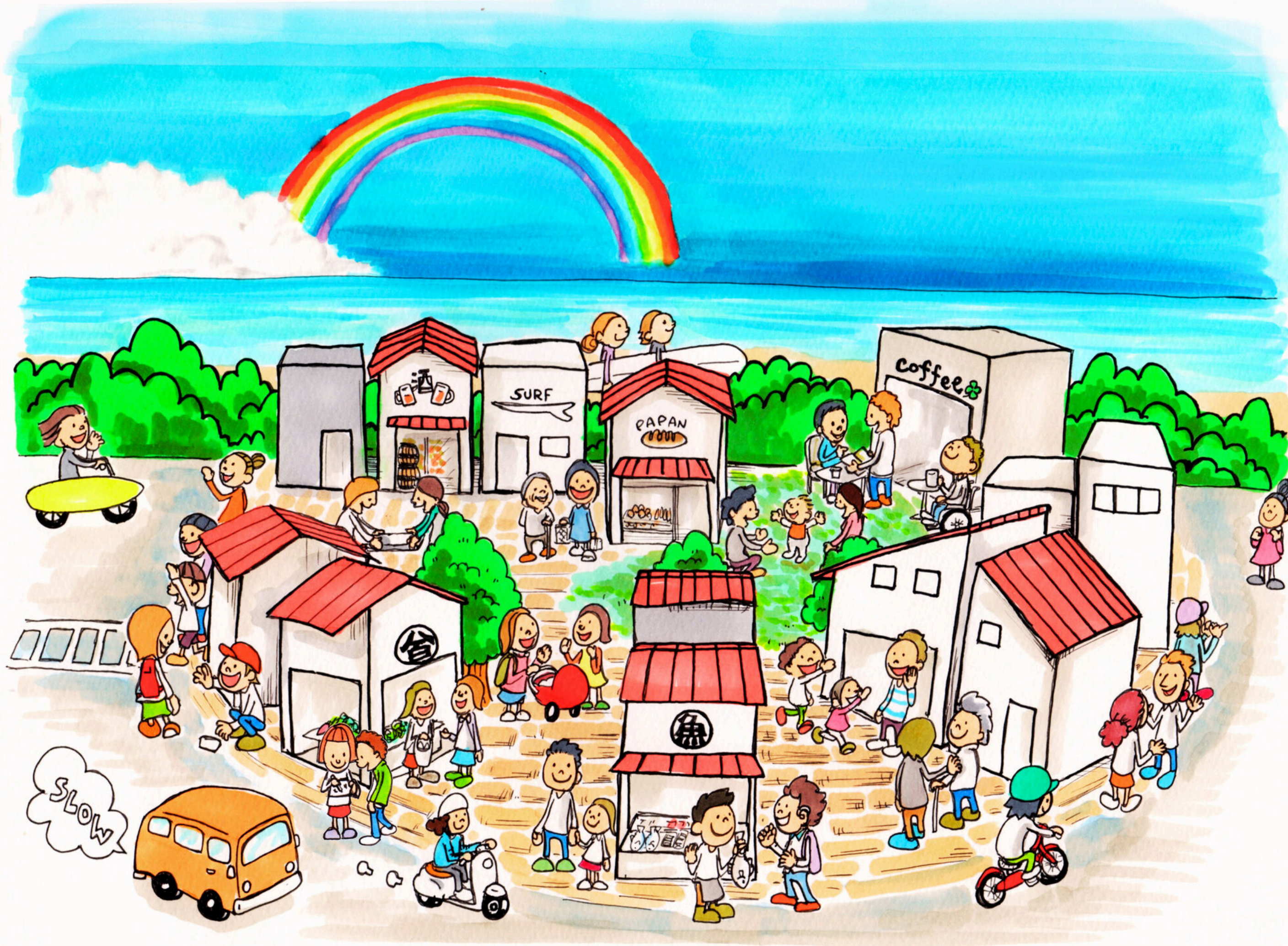
どこまで伝わってるかわからない

4Heartsが解決したい社会課題は、
聴覚障害に限らず、外見からはコミュニケーションに困っていることが分かりにくい人にも共通している。（視覚障害、発達障害、高齢者、外国人、子ども、内向的な人など）

社会的包摂の推進 と 社会全体の意識醸成 が必要

私たち4Heartsは、

社会の「意識」を変えることに挑戦しています。



スローとは
“こころのゆとり”

スローライフ
スローフードに続く
第三のスローとして

SLOW
COMMUNICATION
PROJECT

体験によるコミュニケーションバリアの啓発活動

特殊ノイズの流れる
ヘッドフォンでの聞こえにくい体験者

延べ**1000名**以上

「体験することでしか分からないことが多いと思いました。」
「想像以上に孤独。「伝わる」ことが当たり前ではないと実感。」
「高齢の親のことを思い出して、もっと何が出来たのか考えてしまった。」
「信頼感の有無で大きく変わる。」
「積極的にコミュニケーションをとっていかうと思った。」



神奈川県立大学工学部経営工学科人間工学研究室と 2年間の共同研究



かながわボランティア活動推進基金21 令和6年度協働事業 神奈川県との協働事業 情報アクセシビリティ社会モデル事業

企業5社のご協力のもと、
藤沢駅北口エリア商店街の10店舗に音声認識機器を設置し、実証



オリジナルステッカープレゼント
設置店舗でのアンケートにご協力をお願いします。回答いただいた方には、ふじキューのオリジナルステッカーをプレゼント！（※数量は限りません。）

音声認識機器の実証実験
おんせい にんしき きーご
じっしやうじっせん

何を言っているのかよくわからないわ。

藤沢駅北口エリア商店街の10店舗
2024年 8月1日～9月30日

話したことを自動で文字にする「音声認識機器」
「音声認識」とは、話したことを理解するAI技術のこと。「音声認識機器」は話したことを自動で文字変換し、コミュニケーションを助けることができるツールです。

商店街でのコミュニケーションバリア解消実験
見た目では分かりにくい、なかなか気づかれないですが、耳が聞こえない・聞こえにくいといった理由で、多くの方々が日常のコミュニケーションで困難を抱えています。この実証実験は、日常生活に密着した商店街で音声認識機器を実際に使用していたり、アンケートへの回答にご協力をいただくものです。回答いただいたアンケートの結果を分析することで、バリア解消に向けた取組みの検討に役立てることを目的としています。一人ひとりもっと多くの選択肢を持ち、安心してコミュニケーションを行える社会を実現していきます。

見て分かるから安心して話を聞けるな。

※本件は、かながわボランティア活動推進基金21 令和6年度協働事業 神奈川県との協働事業として行う実証実験です。
【主催】一般財団法人4Hs（株） 藤沢市
【協賛】藤沢市・藤沢駅北口エリア商店街協議会・運行協力4丁目自治会・運行協力5丁目自治会・文政大学藤沢キャンパス
【協力】公益財団法人神奈川県障害者福祉協会・社会福祉法人神奈川県障害者福祉協会・NPO法人県民生活支援教育推進協会
株式会社アイシン・株式会社キューメンソリューションズ株式会社・株式会社フューチャーズ・株式会社エヌエスエス
ビクターエレクトロニクス株式会社・株式会社リコー

おんせい にんしき きーご せっち
音声認識機器 設置マップ

藤沢駅北口エリア商店街

10 藤沢南仲通郵便局

9 タイエー

8 7

6 ファミリーマート

5 みずほ銀行

4 3

1 2

3 肉屋喜平

7 RiCCO (靴屋)

8 大島薬局 本店

9 和田屋 (質屋)

10 藤沢南仲通郵便局

藤沢駅

いろいろなスタイルの音声認識機器が設置されているよ、お店に行ってみよう！

音声認識機器開発メーカーの悩み

せっかく導入しても

使い続けてもらえない



当事者の悩み

みんなの話がわかるようになりたい

だけど

みんなの迷惑や負担になりたくない



企業の悩み

聞こえない人を雇用しても

能力を引き出せない

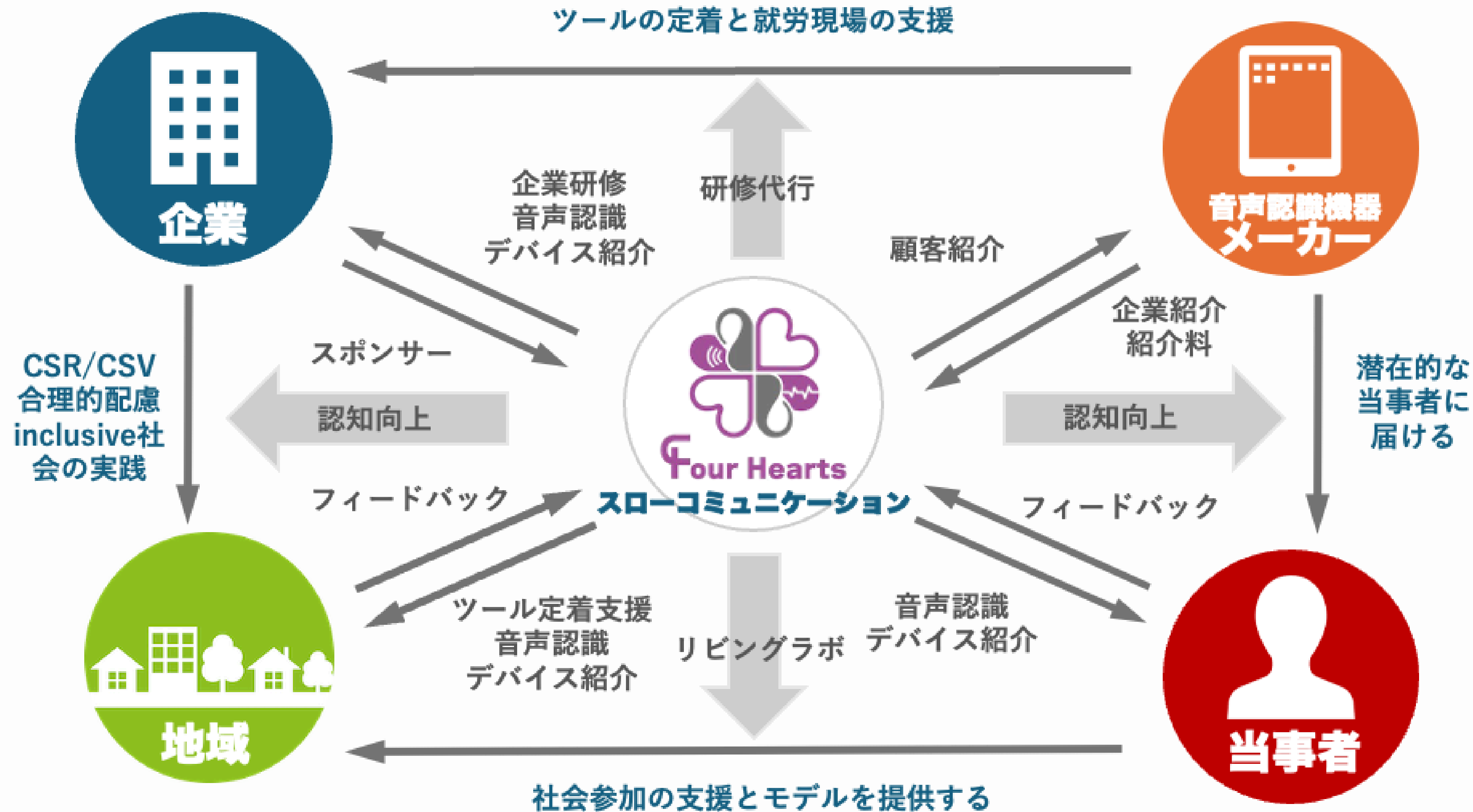


地域の悩み

聞こえない人が目の前に現れても

どう対応したら良いかわからない





コミュニケーションバリアに取り組むことが企業価値になる世界へ
「同じ瞬間に笑いあえる」リビングラボを作りたい！

音声認識機器

導入支援コンサルティング
実装モデル展示



近未来
共創



体験型研修施設

インクルーシブ
コミュニケーション研修

キャリア支援

職場定着率向上のための
心理支援・就労支援

活動を応援してくださるパートナーを募集中！

問い合わせ窓口

研修・講演のお問い合わせ
寄付等のお問い合わせ

 gia.4hearts@gmail.com

4Hearts | 

スロコミュ | 

今後の活動案内

今後の活動内容などはWEBサイトやSNSなどで告知していきたいと思います。

 [/gia4hearts](https://www.facebook.com/gia4hearts)

 note.com/4hearts_gia